

## (キ) 生活日課(月～金曜日)

午 前		午 後	
8時50分 9時00分	着替え	13時10分 14時15分	作業
9時00分 10時30分	朝礼・ラジオ体操 作業	14時15分 14時30分	休憩
10時30分 10時45分	休憩	14時30分 15時25分	作業
10時45分 11時55分	作業	15時25分 15時40分	片づけ・終礼・日誌記入
11時55分 13時10分	昼食・休憩	15時40分 16時00分	着替え・帰宅

## (ク) 受託種目

受託科目	作業内容	関連業者	作業収入
受託作業	各種幼児教材製作	ジャクエツ(株)	285,603円
	食品用木工部品組立て	(有)相木	372,871円
	保冷バッグ洗浄	ヨシケイ	19,305円
	シール貼り・封筒入れ	えつすい	155,978円
	ゴミ袋袋入れ・クロス点検	ミヤゲン	133,289円
	昆布袋詰め	ヤマトタカハシ	521,948円
	昆布袋詰め・シール貼り等	日本海物産	1,605,380円
	縁材切り・封書入れ・際根太	永大	1,284,758円
	ダイレクトメール封入	奥井海星堂	110,000円
	しめ縄製作	氣比さん参道いきいき会議	92,000円
	ガムテープはがし	田中紙管	326,865円
	その他	日本ハムなど	10,271円
	小計		
施設外作業	トイレ清掃	二州健康福祉センター	473,770円
	法務局除草作業	アイビックス	144,000円
	清掃(栗野駅)	敦賀市 生活安全課	612,480円
	清掃(新疋田駅)	敦賀市 生活安全課	612,480円
	エコリョク	宮川造園	3,200円
	農福連携(除草)	敦賀市農林水産振興課	33,400円
	サンプリエ和久野・駅前マンション・サンプリエ曙	日章土地	425,000円
	館内清掃	GH桜ヶ丘	83,000円
	清掃	BMキンモト	364,210円
	除草	その他	16,500円
	小計		
自主製品			654,481円
合計			8,340,789円

(ケ) 苦情件数 1件

### 3. 敦賀市障害者地域生活支援センターこだま（相談支援事業）

#### 1. 施設の概要

- (1) 事業所名称 敦賀市障害者地域生活支援センターこだま
- (2) サービス名 敦賀市障がい者相談支援事業（市受託事業） 平成17年4月1日受託  
 指定特定相談支援事業 平成24年4月1日市長指定  
 指定障害児相談支援事業 平成24年4月1日市長指定  
 指定一般相談事業 平成24年4月1日知事指定
- (3) 給付の種類 地域生活支援事業、個別給付
- (4) 目的 障がい者や障がい児及びその家族に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援及び情報の提供等を総合的に  
 行うことにより、障がい者や障がい児及びその家族の地域における生活を  
 支援する。
- (5) 利用対象者 敦賀市内に居住し、地域において生活支援を必要とする障がい者や障がい  
 児及びその家族
- (6) 事業内容 敦賀市障がい者相談支援事業  
 (a) 福祉サービスの利用助言に関する事業  
 (b) 社会資源を活用させるための支援に関する事業  
 (c) 社会生活力を高めるための支援に関する事業  
 (d) ピアカウンセリングに関する事業  
 (e) 権利の擁護のために必要な援助に関する事業  
 (f) 専門機関の紹介に関する事業  
 (g) 就労支援に関する事業  
 (h) その他関係機関との連絡調整等に関する事業  
 指定特定相談支援事業  
 129名  
 指定障害児相談支援事業  
 6名（うち3名は指定特定相談支援事業併用利用）  
 計135名  
 指定一般相談事業 地域移行支援 …… 0名  
 地域定着支援 …… 2名

#### 2. 令和4年度事業実施内容

##### (1) 利用者状況

##### (a) 利用者数

	実人員	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	158	6	7	97	32	3	2	16
障害児	8	1	0	3	0	1	0	3
計	166	7	7	100	32	4	2	19

(b) 相談等利用状況 4470件

(2) 県の新型コロナウイルス感染状況評価指標に基づいて作成した、法人内事業所別感染症対策基準表と照らし合わせながらセンター内のフリースペースを開放して相談予定のない方でも立ち寄ることができる場を提供した。

(3) ピアカウンセリングの実施

令和3年度末に送付したアンケート結果を元にピアサポートの会(仲間どうしで支える会)として年4回開催した。

第1回 6月25日(日) 参加者14名

ウォーキングをしながら日ごろの思いを聞く(健康、家族、お金など)

第2回 8月28日(日) 参加者14名

「親がいなくなったあとの生活」「恋愛や結婚に障害は関係があるの？」をテーマにグループワーク実施

第3回 12月18日(日) 参加者18名

一般社団法人ひとまち永平寺 代表理事竹澤様、吉田様にお越しいただき、前回のグループワークより「お金のやりくりについて」をテーマにグループワーク実施

第4回 3月12日(日) 参加者17名

健康のために「今やっていること、心配なこと、やりたいけれどできていないこと」さらに「やってみたいこと、知りたいこと」をテーマにグループワーク実施

(4) 職員の派遣依頼及び派遣状況

①敦賀市地域自立支援協議会の運営会議・相談支援部会・専門部会への参加

(就労支援部会 年11回、在宅者地域支援部会 年7回、

地域生活支援部会 年4回、権利擁護・虐待防止部会 年1回

療育部会 年3回)

就労支援部会に関しては、事務局と協力し幹事センターとして部会運営を行った。

②民生委員児童委員連絡協議会にて相談事業所周知

③二州地区精神事例検討会企画委員会 (今年度開催なし)

④地域移行・地域定着促進連絡会 (今年度開催なし)

⑤嶺南東特別支援学校保護者会にて相談事業所周知 (今年度開催なし)

⑥嶺南東特別支援学校 PTA 座談会 (今年度開催なし)

(5) 苦情件数 0件

(6) 新型コロナウイルス感染状況を鑑み、法人内事業所別感染症対策基準表を策定し、これに基づき相談支援体制を整えて対応した。

## 4. 嶺南障害者就業・生活支援センターひびき

### 1. 施設の概要

(1) 事業所名称 嶺南障害者就業・生活支援センターひびき

(2) 事業名 障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定等事業)の受託(国事業)  
障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)の受託(県事業)  
福井県障がい者等雇用促進支援事業(県単事業)

(3) 目的 障がい者の職業生活における自立を図るためには、就職や職場適応などの

就業面の支援ばかりでなく、生活習慣の形成や日常生活の管理など生活面の支援も重要であり、身近な地域で、就業及び生活面において、一体的かつ総合的な支援を提供することが必要である。

このため、就職を希望する者、職場不適應により離職した者や離職のおそれがある在職者など、就職や職場への定着が困難な障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行う障害者就業・生活支援センター事業を実施することにより、障がい者の雇用促進及び職業の安定を図る。

- (4) 対象地域 嶺南福祉圏域
- (5) 利用対象者 嶺南福祉圏域に居住し、職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援を必要とする障がい者であって、次の条件に該当する者とする。
1. 就職するため、また、継続的に雇用されるために、就業に係る支援と同時に日常生活において相当程度の支援が必要な者
  2. 一旦就職したものの、職場不適應を起こし離職若しくは休職するおそれがある者又は職場不適應により離職した者若しくは休職している者等職場定着のために継続的な支援が必要な者
- (6) 事業内容
- (a) 支援対象者の把握と周知広報
- ① 関係機関との情報交換
- (b) 就職に向けた支援
- ① 支援計画の策定 ② 基礎訓練の実施 ③ 職業準備訓練、職場実習の斡旋
  - ④ 就職支援の実施
- (c) 在職者に対する支援
- ① 職場定着プログラムの策定 ② 職場定着支援の実施 ③ 職場不適應へ対応
  - ④ 雇用継続が困難な場合の対応 ⑤ 事業主に対する雇用管理に関する助言
- (d) 支援対象者等に対する日常・生活上の指導・助言
- ① 相談に対する指導・助言の実施 ② 巡回障害者就業相談会の実施
- (e) その他
- ① 関係機関連絡調整会議の実施 ② 関係機関等に係る情報の提供
  - ③ 公共職業安定所、福井障害者職業センターとの連携
  - ④ 支援担当者の研修
- (7) 併設・提携施設
- 併設施設 敦賀市立やまびこ園  
ワークサポート陽だまり
- 提携施設 (福) 若狭つくし会 第2つくしの家  
(福) 二州青松の郷 ひまわりの家  
(福) はこべ福社会 はこべの家

## 2. 令和4年度事業実施内容

(1) 利用者状況	316名
(2) 就職件数	40名
(3) 職業準備訓練の斡旋	4名
(4) 職場実習の斡旋	27件
(5) 相談・支援の件数	2,467件

(6) 事業主に対する雇用管理相談	571 件	
(7) 事業所数	106 事業所	
(8) 苦情受付件数	0 件	
(9) 職員の会議派遣等		
① 福井労働局、職業センター、その他関係機関主催会議		
② 障害者就業・生活支援センター 連絡調整会議		年間 2 回
③ 就職サポート会議（会議出席・派遣等）		毎月 1 回
④ ジョブガイダンス（ハローワーク敦賀、小浜）		2 箇所
⑤ 障害者就業・生活支援センター中部・北陸ブロック経験交流会		WEB 開催
⑥ 障害者職業生活相談員資格認定講習 講師派遣		年間 1 回
⑦ ダイバーシティ経営セミナー 講師派遣		年間 1 回

(10) まとめ

- (a) 新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて第 3 四半期までは事業所訪問の自粛等、活動に制限が生じたが、新規相談者は例年を上回り、33 名の利用登録と支援計画・基礎訓練・準備訓練・職場実習・就職支援を実施し 40 名の登録者が一般就労を実現した。
- (b) 上記 40 名の就労者を含め、登録者 316 名に対する就職相談支援及び在職者の定着支援を実施。事業主支援として 106 事業所の相談・支援を実施した。事業所の依頼を受け、障害者雇用の導入に関するコーディネートや職場定着支援を実施した。
- (c) 就業及び就業生活に関する相談・支援を 2,467 件実施した。特に就業生活の継続に必要な「安定した生活」を実現するための生活支援に関する相談については、近隣資源とつながりを持つことができるようなコーディネートを意識した。
- (d) 定例会議は WEB を活用し、関係機関との連携を重視した活動を実施した。また、一般就労を目指す本人と障害者雇用をしたい事業主のお互いの利益のために、ハローワーク及び就労移行支援事業所と連携を図るため、月 1 回のペースで「就職サポート会議」を実施した。例年通り当期も福井障害者職業センターの職業準備支援プログラムを嶺南サテライトで実施し、二州・若狭地区で 6 名の利用者の一般就労への移行支援をサポートした。
- (e) 在職者を対象とした「ひびき在職者交流会」、当事者間の意見交換を目的とした「ピアサポート交流会」においては、ひびき職員が自ら企画立案するとともに、WEB 参加も併用し開催した。
- (f) 事業主を対象とした「企業担当者交流会」については、障害者職業生活相談員認定研修の機会を利用し、障害者雇用に取り組む企業担当者間の交流を図った。また、人材確保支援センター主催のダイバーシティ経営セミナーにおける講義と企業担当者を交えた事例紹介を実施した。
- (g) 福井県労働政策課委託事業「障がい者雇用促進支援事業」において、3～10 日間の福井県障がい者等就業体験支援事業と、1～2 日間の短期間職場実習（インターンシップ支援事業）を過去最大数の 25 件実施した。また、今年度は就職サポート会議で企画開催してきた“職場見学バスツアー”が予算化された。市内 2 か所の企業と就労移行支援事業所等で就職準備中の方々 8 名のグループとのマッチング機会を提供し、以降の合同面接会につなげる支援ができた。

## 5. 共同生活援助事業

### (1). グループホーム桜ヶ丘